



上水中だより

小平市立上水中学校

令和2年8月1日

第5号

終業式講話

校長 齋藤 信之

新型コロナウイルス…このウイルスが、これほどまで大きく、私たちの生活に影響を与えることなど、全く考えもしなかったとき、令和2年が明けました。新年の目標と新学期の目標を立て、例年と変わらぬ新年が始まりました。ところが、3月から学校は休校となり、そして、4月…令和2年度が始まりました。4月6日には、それぞれが進級して2・3年生となり、校庭での青空始業式。次の日、1年生とその保護者だけの入学式は、テニスコート上が式場、見守るのは教職員のみ。そこから、5月31日までの休校…まさに予想もしなかったことです。それでも、6月からは、授業が再開され、今は、通常の学校生活に戻りつつあります。

3年生…君たちが上水中にとって、大きな存在であることを1・2年生に示すべき体育大会が中止となり、それならば、合唱コンクールで…と言っても、それもない。上水中の伝統…「上級生を手本」にしながら、先輩があこがれの存在である学校。この伝統を一番伝えやすかったのは、この2大行事でした。でも、ないものをいつまでも嘆いていても仕方ありません。また、上水中のよき伝統をここで、閉ざすわけにもいきません。となると、普段の学校生活の中で、君たちの存在を示すしかない。ということを3年生、君たちなら分かっているでしょう。分かっているからこそ、しっかりと考えて、様々な行動をしていってください。今までとは違ったこの状況の中で、手本となる上級生であることを示してください。それこそ、新たな上水中のよき伝統となっていくます。

2年生…後輩ができた今、学校生活はどう変わりましたか。その実感はまだわきませんか。生徒会活動、委員会活動、そして、部活動。まだまだ3年生が主ですが、9月には、生徒会役員選挙があります。3年生は、自分で決めた進路に向かって、その目標を達成するための活動が主となり、そこで、2年生が、代替わりします。1年生の手本となることはもちろん、学校の中心的役割が自分たちに来るのだという自覚をもって、生活してください。

1年生…中学校生活はどうですか。もう慣れましたか。先ほどから言っているように、3年・2年の先輩たちは、手本となる人たちです。学校生活で分からないことがあったら、どんなことでも先輩に聞きましょう。そして、「あんな先輩に自分もなりたい。」と思える先輩に出会いたいですね。

さて、これから、新年度の初めての通知表が渡されます。各教科の評価は、君たち自身が授業で身に付けた学力が、5段階の数字で示されています。努力の成果が結果に出ているといいですね。また、努力したけれど、数字に表れていない、という人がいたら、その教科担当の先生に学習方法を聞いてみましょう。通常は40日を超える夏休みは、23日間しかありません。でも、学校が休校した3か月間を考えたとき、この23日間は、とても貴重な時間になります。しっかりと、計画を立てていると思いますが、有意義な時間を過ごしてください。

最後に、君たちは、新しい生活様式を身に付けているからこそ、今日も元気に、教室でこの放送を聞いているのだと思います。これからも、ソーシャルディスタンスを忘れずに、今まで以上に、すべてのことに、安全に正しく関わっていくことを続けてください。8月24日の始業式に、上水中生、全員が元気に、今、いるべき席に座っていることを、強く望んでいます。

<8月 始業式以降の予定>

24	月	始業式 ②③授業 ④学活 地区別集団下校訓練 12:00～
25	火	午前授業 45分×4 給食なし
26	水	〃
27	木	〃
28	金	通常授業 50分×6 給食始
29	土	
30	日	
31	月	通常授業 50分×6 通級始



7月の様子

全校朝礼は放送で行いました。校長講話の様子です。



ボランティアの皆さんが、学習教室を開いてくれました。参加者は集中して取り組んでいました。



1年生にとっては初めての期末テストがありました。2年生は廊下に、生徒が自分の勉強法を紹介しています。熱心に読み、参考にしていました。



例年より時期が遅くなりましたが、身体測定を行いました。

